



第10回 ポトムの楽校

クロスワードパズル

正解者には抽選で 図書券をプレゼント!

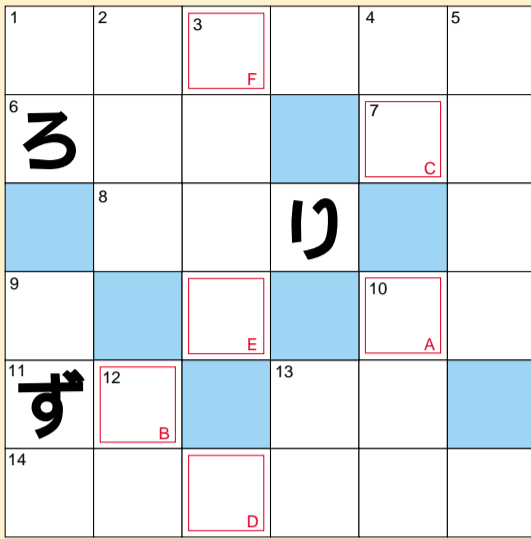
【タテのカギ】

- 1 川の流れのいちばんゆるやかなところ。「滞」と書くよ
2 長良川などで見られる「ウ」を使った漁のこと
3 冬に北からふいてくるさわい風
4 魚。「さかな」のほかに、もうひとつ読み方がある
5 探検隊のおとずれた工業用水道事務所
(3ページを見て)
9 『日本書紀』に登場する水の女神。ノメ(6ページを見て)
10 伊勢崎線。 小泉線
(3ページを見て)
12 新聞記事や「おすし」の材料のこと。「タネ」をさかさにしたことば
13 やポートはダム湖の楽しみ
(7ページを見て)

【ヨコのカギ】

- 1 利根川の水は利根大堰から埼玉県と群馬県と に送られる(2ページを見て)
6 道のわきのこと。「路肩」と書くよ
7 はだかの さま。英語で「king」
8 ふねをみなとにとめるとき、おろすもの
10 利根大堰には みたいなものがいくつもくっついている
(2ページを見て)
11 むこう。「弁慶のなきどころ」ともいうよ
13 川や道などを管理する国土交通省(1ページの下を見て)
14 水の女神が水の底で機を織っているという(6ページを見て)

[答え]二重わくの中の字をABC順にならべてね。それが答えだ。



答えがわかった小・中学生は、住所・氏名・学校名・学年・電話番号・答え()を明記のうえ、メール・ファクス・はがきのいずれかで送ってね。正解者の中から抽選で20人に図書券(千円分)をプレゼントします。
また、この「川の子ども新聞」を読んだ感想(いちばんおもしろかった記事・おもしろくなかった記事)・意見・質問・取り上げてほしい記事なども送ってね。「川いカルタ2006」の読みふだや意見も待ってるよ。感想や意見などを送ってくれた人にはオリジナルグッズをプレゼントします。

あてさき 〒371-8666 前橋市古市町1-50-21 上毛新聞社広告局企画部 「川の子ども新聞」係
ファクス / 027-254-9904
メール http://www.raijin.com/kawaにアクセスして、応募フォームから送信してね。(携帯電話からもアクセスできます)
しめきり / 2005年1月31日(月)

前回(第9号)のこたえ

「おくとねこ」



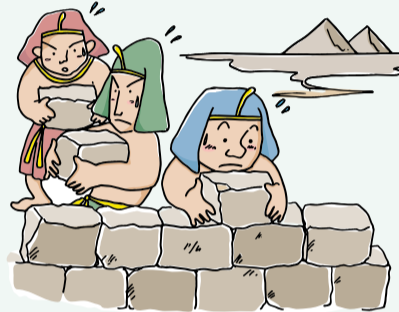
たくさんの応募ありがとうございました。



ポトムのQ&A

どうしてもわからなくて、どうしても知りたいこと、あるんだけど...教えてポトムくん!

Q ダムはだれがいちばん初めにつくったの?
まず、ダムというのは、水をせきとめるためにつくられた、高さが15 以上ある構造物土や石やコンクリートなどでつくられたもの(のこと)なんだ。このダムをいちばん初めにつくった人の名前、それはぜんぜんながら伝わっていない。ただし、ダムはとも古い時代からつくられてきたことはたしか。いちばん古いところでは、紀元前2900年(いまから4900年前)ごろ、エジプトのナイル川につくられた「シエンス・ダム」というのが記録にのこっている。
日本でも古くから、とくに田畑に水をひくかんがいのため池(アースダム)としてつくられた。西暦162 年に奈良県に蛙股池という高さ17 のダムがつくられたと伝えられている。
このようなアースダムとしては、弘法大師(空海)が改修した香川県の満濃池など、いまでも使われているものがたくさんあるんだ。



Q 台風が来てもダムがあると 水害を防げるってほんと?
台風は大雨をとまなうことが多く、大雨は洪水(川の)の水かさが増えること(を)もたらすことがある。それをダムによって軽減しているんだよ。
台風が来る時期には、ダムはたくさん水をためられるように空けてある。ダムの管理所では、気象(台風情報など)・雨量・雨量などの情報が見られるようになっていて、いつも監視している。大雨のときなど、ダムへのくわい水が入ってくるかを予測しているんだ。台風などで大雨がふって洪水になりそうときは、入ってくる洪水の一部をダムにためて、下流に流す量を少なくして洪水を軽減している。これを、洪水調節(洪水調節)っていうんだよ。おぼえておいてね。最近では、ダムで洪水調節をしていると、川の downstream で堤防が整備されてきているので、昔にくらべると水害が減ったといわれているんだ。



表紙写真 矢木沢ダム(水上町)
利根川水系のいちばん上流にある、いちばん大きなダム。ふかい雪につつまれる冬のあいだも休むことなくはたらいているんだ。

お知らせ
利根川ダム資料館からのお知らせ
「クイズラリー」開催中
「石ノ門アート」と「木のストラップ」の体験コーナーが好評です。
メールマガジン
「利根川の流れ」配信中

第11号の子ども記者を募集します。
きみも記者になってみよう!
「ほくもわたしも」記者をやってみよう!
次号の発行予定
「川の子ども新聞」第11号は平成17年3月下旬に発行する予定です。

- 編集委員会
群馬県小学校中学校教育研究会
群馬県立小学校教諭
群馬県立中学校教諭
群馬県立高等学校教諭
群馬県立高等学校教諭
群馬県立高等学校教諭
群馬県立高等学校教諭
群馬県立高等学校教諭